

自転車の組み立て方

●このたびは当社の自転車をお買い上げいただき、誠に有難うございます。本書は大切に保管して頂き、必要に応じてご覧ください。

1. 組み立てに必要な工具

付属 工具



① 5mm六角レンチ
(サドル用)



③ 15mm スパナ
(ペダル用)



② 6mm六角レンチ
(ハンドルバー固定用)

必要 工具



④ カッターもしくはニッパー
(荷ほどき用)



⑤ プラスドライバー
(ベル・リフレクター取付用)

2. 本体および付属品のチェック

自転車本体を箱から取り出して頂き、本体に損傷や変形がないかチェックしてください。

※付属品が足りない場合や、本体に損傷や変形があった場合はご連絡ください。

付属品

・ペダル R(右用) × 1 ・ペダル L(左用) × 1 ・後輪用ハブキャップ × 2 ・クイックリリースレバー × 1 ・仏式バルブ × 1 (装着済)
・5mm六角レンチ × 1 ・6mm六角レンチ × 1 ・スパナ 15mm × 1 ・取扱説明書 × 1

3. 前輪 (クイックリリース) とハンドルの取り付け

使用 工具



カッターもしくは
ニッパーなど

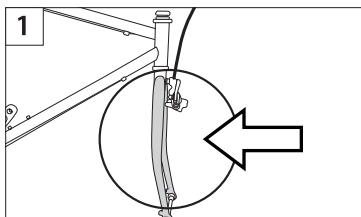
前輪とハンドルは、自転車本体にインシュロックで固定されていますので、カッター等でインシュロックを外してください。

警告

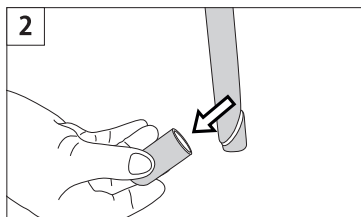
クイックリリースの取扱い方法を必ずご確認ください。

クイックリリースは工具を必要とせず、ワンタッチで車輪をはずせる便利な機構ですが、調整と締め付け力が適切でないと、走行中にホイールがゆるんだり外れたりし、重大な事故に繋がる恐れがあり非常に危険です。

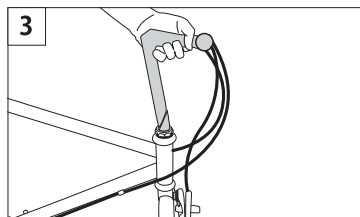
乗車前にはクイックリリースの構造と取扱い方を理解した上で、必ずきちんと取り付けされているか確認のうえ乗車ください。



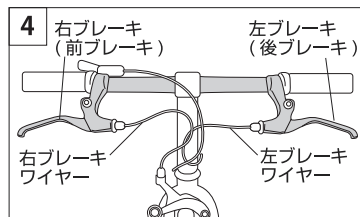
フロントフォークの向きにご注意ください。※ブレーキが前方です。裏面をご確認ください。



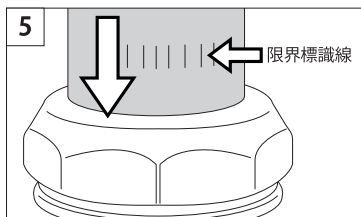
ハンドルの下部に付いているキャップ等は取り外してください。



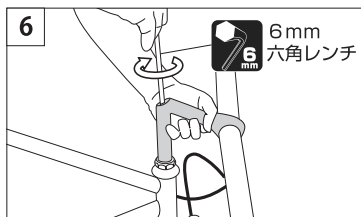
組立時にハンドルが当たって傷がつかないようにハンドルを仮止めします。



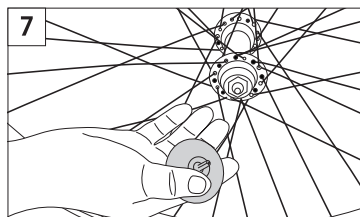
ハンドルポストを本体に差し込んだ際に右ブレーキワイヤーが左ブレーキワイヤーの前に来るように差し込んでください。
※差し込んだ時にワイヤーのねじれが無いようにご注意ください。



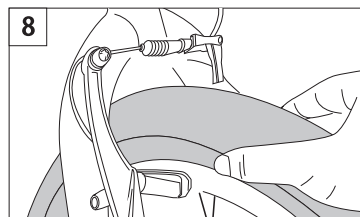
ハンドルは限界標識線が見えない位置まで差し込んでください。



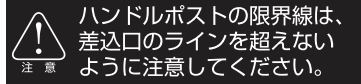
図の工具(付属の6mm六角レンチ)でハンドルを仮止めしてください。※ハンドルの形状はイラストと違う場合があります。



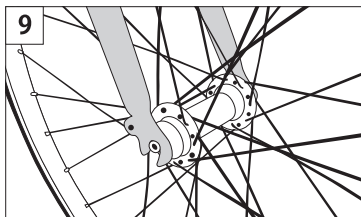
前車輪の樹脂キャップを取り外してください。キャップの芯の部分が中に残らないよう、引き抜くように外します。



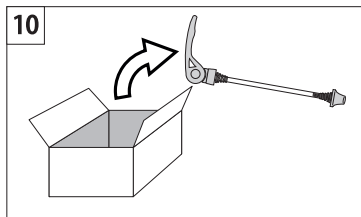
後輪を参考にしてタイヤの方向に注意しながら、フロントフォークに前輪をはめます。ブレーキ部分はタイヤ側方をつぶすように通してください。(エアが抜けた状態)



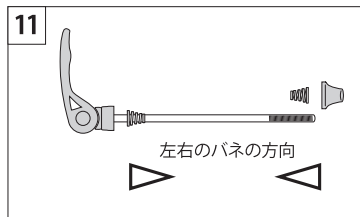
ハンドルポストの限界線は、差込口のラインを超えないように注意してください。



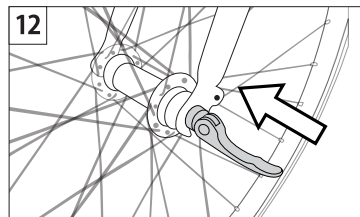
フロントフォークに車輪の軸部を引っ掛けるように載せてください。軸部の一番外側の部分のみが引っ掛かります。



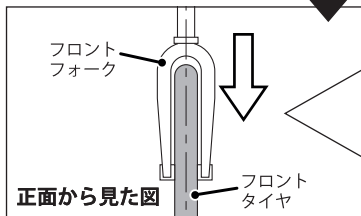
付属している小箱からクイックリリースレバーを取り出してください。



クイックリリースレバーの構成は図のようになっています。左右のバネの方向にご注意ください。



クイックリリースレバーを自転車の左側(自転車に向かって右側)から差し込んでください。(バネの方向に注意してください。)



タイヤを入れる時は、タイヤの中心とフロントフォークの中心が重なる様にセットしてください。

カムレバーはきつく締め付ける、右端(レバーと反対側)を手で固定して、レバーを時計回りの回すと締めこまれていきます。※カムレバーが最大の力で止められる程度の場所が望ましい。

自転車の組み立て方

4. 泥除けの取り付け

使用
工具

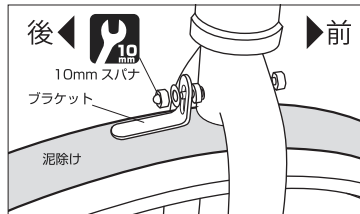


10mm スパナ

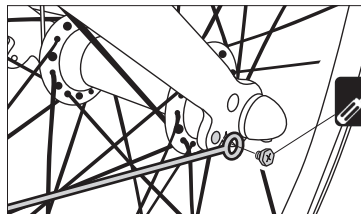


プラスドライバー

【前
輪】



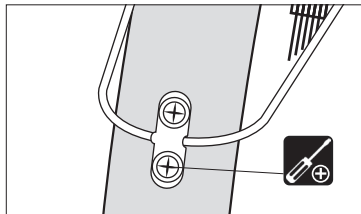
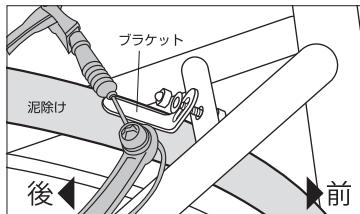
泥除けのブラケットを付属の六角ボルトで締め付けます。



泥除けのステーを付属の+ドライバー穴付き六角ボルトで固定します。(左右)

※ステーが予め泥除けとセットになっている方が前輪用です。

【後
輪】



泥除けのステーに付属の金具を被せ、ネジで固定します。

5. ペダルの取り付け

使用
工具



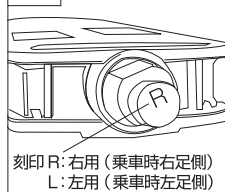
15mm スパナ
(ペダル用)



ペダルには右用左用があります。(図L)
ペダルはクランクに対して垂直に入れてください。
(図M)

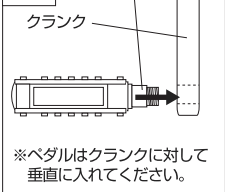
●ペダルの刻印を確認の上、左右間違えないようにしてください。
必ず手でクランクに対して仮止めを行ってください。

図L



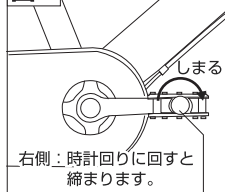
刻印 R: 右用 (乗車時右足側)
L: 左用 (乗車時左足側)

図M



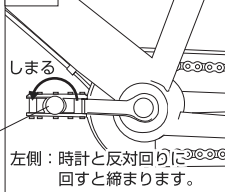
※ペダルはクランクに対して垂直に入れてください。

図N



右側: 時計回りに回すと締まります。

図O



左側: 時計と反対回りに回すと締まります。



ペダル取付時は必ず、初めに手で回せる限りねじ込み、最後にスパナを使用して本締めを行ってください。
ペダルが斜めに穴に入ったまま、力を加えるとクランクが破損する可能性がある為、ご注意ください。
※ペダルを本締めた際にバリが出る事がありますので、バリが出た場合はニッパー等でバリを取り除いてください。



※クランクは左右でネジの向きが異なります。(図N / 図O)

●左右のペダルの仮止めが終わりましたら、付属の15mmのスパナを使って本締めを行ってください。

(締付トルク40±5N・m)

※本締めを行う際は左のブレーキレバー（後輪ブレーキ）を握った状態で行ってください。

6. サドルの調整

使用
工具



5mm 六角レンチ
(ステム&サドル)

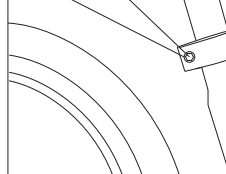
●シート調節用ボルトを緩めて頂き、サドルの高さを調節しシート調整ボルトを付属の5mmの六角レンチを使って本締めを行ってください。(図P)

(締付トルク19±1 N・m)



5mm六角レンチ
(ステム&サドル)

図P



図Q



サドルの高さを調整する際には、サドルポストの限界線が差込口のラインを超えないように注意してください。(図Q)

7. 各部の点検

●最後に組み上げた部分を点検します。
以下の点検項目のチェックを行ってください。

①ハンドルを左右の方向に動かした際に、緩みやガタがないか。

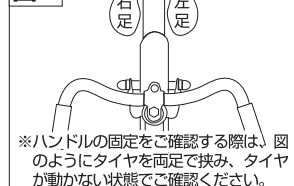
②ハンドルを上下に方向に動かした際に、緩みやガタはないか。

※ハンドルの固定確認は、自転車の前輪側に立ち、両足で前輪を挟んでチェックしてください。

③サドルを手で持って、左右に動かした時に動かないか。

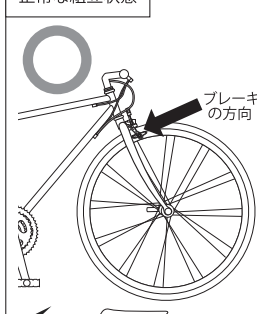
※項目7の乗車前の確認は、自転車整備士有資格者が行ってください。

図R

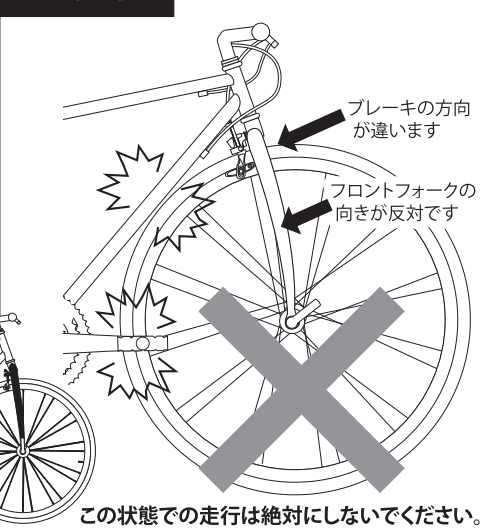


※ハンドルの固定をご確認の際は、図のようにタイヤを両足で挟み、タイヤが動かない状態でご確認ください。

正常な組立状態



誤った組立状態



この状態での走行は絶対にしないでください。



一部の車種において、フロントフォークの向きを逆向きにして梱包している車種があります。
フロントフォークが逆さまの向きですと、前輪を取り付けたときにフレームやペダルに接触する可能性があり大変危険です。
必ずフロントフォークを正常な向きに直してから、組立を始めてください。この時にブレーキを外す必要はありません。